

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和8年度 第4回入間市高齢者福祉審議会
開 催 日 時	令和8年9月30日(水) 午前10時00分 開会・午前11時50分 閉会
開 催 場 所	市役所B棟4階 大会議室
議 長 氏 名	小池 佐智子
出席委員(者)氏名	小池 佐智子、森谷 秀一、東 一成、大村 清、高山 京子、 瀧澤 啓次、吉田 美佐子、幡野 敏彦、山下 恵久子、森本 剛、 松本 より子、宮澤 聖二、今井 英雄
欠席委員(者)氏名	遠藤 学、青柳 貴久
説明者の職氏名	高齢者支援課 副主幹 西澤 響子 主 査 杉山 美緒 介護保険課 副主幹 中野 太智
会 議 次 第 (公 開)	1 開会 2 会長挨拶 3 議題 「第11次入間市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画・ 認知症施策推進計画」について (1) 素案について (2) 整備計画と実績について 4 その他 5 閉会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	0名
配 布 資 料	資料1 入間市高齢者保健福祉計画等 総論 素案 資料2 入間市高齢者保健福祉計画等 各論 素案 資料3 認知症施策推進計画 素案 資料4 施設整備計画と実績について 資料5 次期計画 用語解説
事務局職員職氏名	【福祉部】部長 栗原 康友、次長 小笠原 昌平 【福祉部高齢者支援課】課長 井ヶ田 剛、副主幹 西澤 響子、 主査 杉山 美緒、主事 菱沼 優菜、主事 武井 陽菜 【健康推進部】部長 石原 健二、次長 徳山 雅美 【健康推進部介護保険課】課長 町田 秀紀、主幹 亀田 由紀子、 副主幹 中野 太智
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

■審議会の会議録に署名する委員については、幡野 敏彦委員を指名した。

■ 議 題

「第11次入間市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画・認知症施策推進計画」について

(1) 素案について

(2) 整備計画と実績について

事務局より、資料1～資料5に基づき説明後、株式会社名豊（当該計画の策定業務受託事業者）とともに質疑応答を行った。

會議錄 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)
議長	はじめに、「第 1 1 次入間市高齢者保健福祉計画・第 1 0 期介護保険事業計画・認知症施策推進計画」についてのうち、(1) 素案についてを議題とする。総論・各論それぞれ説明後、質疑応答の時間を設ける。それでは、総論について事務局から説明を願う。
高齢者支援課主査	議題に入る前に前回の審議会で指摘があった事項について説明させていただく。市から社会福祉協議会へ支援や委託している事業と近隣助け合い活動推進会についての記載を令和 7 年度の評価から削除した方がよいのではないか、という意見をいただいた。評価対象は、市の事業または市から社会福祉協議会への委託事業としているため、修正はしないこととした。令和 7 年度の進捗評価結果は市公式ホームページにて公表させていただく。
議長	総論について資料 1 に沿って説明。
東委員	意見、質問はあるか。 プラン名について、とても良いと思う。しかし問題点がいくつかある。 1 つ目は認知症施策推進計画の中で若年性認知症について触れており、プラン名の「高齢者」と矛盾がある。認知症施策推進計画については若年性認知症の方を含むという旨を記載しておくの良いと思う。 2 つ目は基本目標 1 に「いきいき」というワードが入っているためメインであるプラン名と下位項目が同じになってしまうことである。基本目標 1 を施策の内容に沿って具体性のあるものに変えると良いと思う。 3 つ目は資料 1 の P 6 「プラン策定の背景」について、具体性のないワードが多いことである。「従来の高齢者福祉の枠組みを超えて」

発 言 者	発 言 内 容
	<p>とあるが、枠組みとは何なのか分からず、説明も記載されていない。</p> <p>また、「支える側と支えられる側という固定的な関係を超えて」とあるが、基本目標3が「市民が市民を支えるまちをつくる」なので、矛盾が生まれてしまう。総論内の文章を、世代や分野を超えて住民同士が支え合う、という内容に修正した方が良いと思う。また、P7に「可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けたいと願う高齢者が増えています」、「温かい結びつきの中で安心を得たいという高齢者の皆様の切実な願い」とあるが、ニーズ調査の結果から読み取れるものなのか。根拠があるならば記載しておくべきである。</p> <p>加えて、2040年問題を多く取り上げているが、次期計画で何を行うのか、どのように反映させるのか示されていない。</p> <p>また、P6に記載がある小数点は他の資料と統一して小数点第一位までとすべきである。</p> <p>また、「全国平均を上回るペースで高齢化が進んでいます」とあるが、増加率を記載するか数字を2つ挙げないと評価ができない。そのため、ペースを「水準」に修正すべきだと思う。</p>
高齢者支援課主査	<p>プラン名の説明文章について、参考にさせていただく。その他のご指摘については修正する必要があるか確認し、検討させていただく。</p>
今井委員	<p>P7プランの基本理念について、現計画から内容が大きく変更されているように見受けられる。どのような経緯や根拠に基づいてこの変更に至ったのか説明を願う。</p>
高齢者支援課主査	<p>確認して後日お示しする。</p>
株式会社名豊	<p>補足すると、次期計画からは認知症施策推進計画がプランに組み込まれることとなった。そのため認知症になっても今まで通りの暮らしをしていきたいという思いを組み込んだ内容となっている。</p>
今井委員	<p>コンサルタントが作成した文章を採用すること自体は問題ないが、事務局とコンサルタントとの間でしっかりと情報共有を図り、内容に</p>

発 言 者	発 言 内 容
森本委員	について十分に理解しておいてほしい。
高齢者支援課主査	基本理念の根拠として、アンケート結果の数字を示してほしい。
高齢者支援課副主幹	アンケートの数字について、確認してお示しする。
議長	市民向けの認知症アンケートの結果報告については、第1回の審議会で配布した資料でお示ししている。認知症になりたくない、自分も認知症になるかもしれないと回答した方が約7割と、認知症に対する不安感が強い結果となっている。
議長	続いて、各論について事務局より説明願う。
高齢者支援課副主幹	資料2に沿って説明。
議長	意見、質問はあるか。
東委員	活動指標と成果指標に区分していることはとても良いと思う。3年先の計画策定を見据えた意見になるが、活動指標と成果指標は基本目標の中の各項目に対応して設定できるとよいと思う。成果指標は市民の意見であるニーズ調査の結果からが望ましい。活動指標は計画に基づいて活動した結果であり、成果指標に繋がるものである。成果指標として、ニーズ調査の追加項目を考えていくと良い。
	次に、基本目標2は11項目と多く、全ての項目を並列に扱うと内容が分かりにくくなってしまう。項目を2～3個に分け、下位項目を設定するといった工夫した方が良いと思う。
	また、一部の目標値において、現状値の小数点を繰り上げただけに見えるものがある。現状維持を目指すということならば、現状値と同じでも良いのではないか。
高齢者支援課副主幹	いただいた意見を基に、今後策定していく上で長期的な視点で見直しをしていく。目標値については、現状と目標を試算した上で設定している。現状値が高い水準にある項目については、現状維持より少し上を目指す現実的な値を設定している。今後、入間市の目指すべき姿に向かって、スモールステップアップで施策の推進に取り組んでいき

発 言 者	発 言 内 容
山下委員	たい。
高齡者支援課主査	<p>P 1 4 の救急医療情報キットの件でお願いがある。民生委員が平成 2 4 年後半から平成 2 5 年度に高齡者宅に訪問してお配りした。しかし、市からフィードバックがなく、事業が継続していることすら知らなかった。配って終わりではなくそこからスタートだと考えている。とても良い事業だと思うので、消防部門と連携して情報交換するなどして実効性のあるものにしてほしい。</p>
森本委員	救急医療情報キットの配布について、現在も継続している。広報の仕方や事業の活用の仕方を検討していく。
高齡者支援課副主幹	<p>P 1 6 ②成年後見制度の利用促進について、令和 9 年度から社会福祉法の改正により地域権利擁護相談支援センターが設置される予定だが、次期計画の中で触れなくてよいのか。</p>
森本委員	<p>権利擁護制度に関する法改正については具体的な内容が示されておらず、具体的な政策形成に至っていないため記載をしていない。市として必要性を認識しており、関連する諸法についても把握しているため、検討していく。</p>
高齡者支援課副主幹	すでに法律が改正されているため、何らかの記載をしてほしい。
議長	検討させていただく。
高齡者支援課副主幹	続いて、認知症施策推進計画について事務局より説明願う。
議長	資料 3 に沿って説明。
東委員	意見、質問はあるか。
	<p>計画がよくまとまっており、3 つの基本施策が明確で分かりやすい。</p> <p>第 3 章と各論の基本目標 2 の認知症施策の推進の棲み分けを明確にした方が良くと思う。同じ内容の評価指標がどちらにも記載されており、どちらの計画による評価なのか分かりづらい。そのため基本目標 2 の評価指標は削除してもよいのではないか。</p> <p>また、アンケート調査の対象者が記載してあると良いと思う。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高齢者支援課副主幹	<p>加えて、各論と同様に成果指標は基本施策の中の大項目に対応させるべきだと思う。3年先を見据えてアンケート内容を検討してほしい。</p> <p>評価指標について、第3章にまとめる。基本目標2には、認知症施策に関する評価指標については第3章に記載するという旨を注釈で入れて整理する。</p> <p>アンケートについて、市民・当事者・介護者家族を対象者に、市が独自に実施したものである。市民向けアンケートについては市公式ホームページ等で広く周知したほか、地域包括支援センターや関係機関に協力いただき関わりがある方にもアンケートを取った。ニーズ調査と同じ設問を作り、どのような違いが出るかの考察を行った。すでに地域包括支援センター等と関わりのある方からの回答が多かったためか、認知症への理解が比較的高い結果となった。そのため、今後、市民向けアンケートについてはニーズ調査の中で取っていきたいと考えている。成果指標については、市民向けについてはニーズ調査の結果をもとに評価することを検討している。認知症当事者、介護者家族を対象としたアンケート結果については、どのように活用するか、検討していきたい。</p>
森本委員	<p>ミスが2つあったのでお伝えする。1つ目はP3-3計画の位置づけの2行目の文で、途中で切れてしまっている。2つ目はP10②の表の見出しで、正しくは具体的な取り組みである。</p> <p>ここからは意見である。国の基本計画の中に重点目標が4つ記載されている。基本施策が挙げられていることが分かるように、次期計画にも記載した方が良いと思う。</p> <p>また、P14(3)相談体制の整備等の認知症ケアパスについて、診断直後に相談先や居場所を知ることができる仕組みづくり、ということで、早いうちにつながるという文言を入れてほしい。</p>
高齢者支援課副主幹	<p>ミスについて、確認して修正させていただく。いただいた意見につ</p>

発 言 者	発 言 内 容
森谷副会長	<p>いても検討させていただく。</p>
高齡者支援課副主幹	<p>P 1 5 の成果指標の目標が低いのではないか。5 割くらいの方には認知症に関する相談窓口を知ってほしいと考えている。P 6 に「身近な相談窓口の周知が必要である」と課題が記載されているにも関わらず、この目標だと市民が目にした時に切実さが伝わらないと思う。</p> <p>認知症に関する相談窓口を知っている人をできる限り増やしていきたいという思いは市としても同じである。現計画にも同じ成果指標があり、現状値 2 3 . 7 % から 2 4 . 4 % に上昇した。次の 3 年間で現実的な伸び率を勘案し、この目標を設定した。計画の進行管理や実効性を担保するためには達成可能な目標を 1 歩 1 歩重ねていきたいと考えた。</p>
東委員	<p>この目標値は、基本施策 3 (3) に記載がある「地域包括支援センターが認知症の相談窓口であることを広く周知していきます。」の成果指標であるという認識で間違いはないか。</p>
高齡者支援課副主幹	<p>成果指標の内容は、ニーズ調査のうち国が指定している設問である。ニーズ調査の市独自の設問として「地域包括支援センターで認知症に関する相談ができることを知っていますか」、という調査をしたところ 4 割近くが知っている、との結果が出た。地域包括支援センターという名称が出れば認知症の相談場所と結びつく方が多い。漠然と認知症に関する相談窓口、というと分からない方が多く、十分に周知できていないという課題が見えてきた。</p>
東委員	<p>ニーズ調査の中に地域包括支援センターを知っているかという設問はあるか。</p>
高齡者支援課副主幹	<p>ない。</p>
東委員	<p>地域包括支援センターが認知症の相談窓口であることを知っている方の割合と地域包括支援センターを知っている方の割合を掛ければ目標値として設置しやすいと思う。2 6 % という目標は実現可能な値だ</p>

発 言 者	発 言 内 容
今井委員	<p>が、計画として出す場合、40%程度だと感覚的に良いかと思う。</p> <p>認知症になった時に、進行を遅くしたり止めたりする薬などの医療を推奨する内容は次期計画では言及しないのか。</p>
高齢者支援課副主幹	<p>認知症は誰もがなるものである。新しい認知症観に沿って、認知症にならないということではなく備える、認知症を自分事と捉えていきいきと過ごしていくという考えに転換しながら認知症施策を進めていきたい。その上でいただいた意見をどのように記載していくか考えていく。</p>
今井委員 議長	<p>市の他の計画でも構わないので入れ込むことを考えてほしい。</p> <p>続いて、「第11次入間市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画・認知症施策推進計画（2）整備計画と実績について」を議題とする。事務局より説明願う。</p>
介護保険課副主幹 議長	<p>資料4に沿って説明。</p> <p>意見、質問はあるか。</p>
松本委員	<p>介護医療院は次期計画でも整備計画なしとなっているが、手が上がらないためか。現場では飯能市の介護医療院を利用することがほとんどだが、市内に整備しないのは医師会との関係なのか。</p>
介護保険課副主幹 議長	<p>総合的に勘案した結果である。次期計画について、ヒアリングを実施中であるため次回の審議会で結果をお示しする。</p> <p>他に意見等あるか。</p>
宮澤委員	<p>9月21日に資料についての意見をメールで送付している。回答をもらえていないが、どうなっているのか。今後の対応も含めて説明してほしい。</p>
高齢者支援課長	<p>今後、体裁等についてまとめて検討していく予定である。説明ができておらず申し訳ない。いただいた意見を基に、市の他の計画の表現と合わせるなど、総合的に判断・検討し、結果を委員の皆様にお示しする。</p>

発 言 者	発 言 内 容
東委員 高齢者支援課長	資料5については説明なしでよいか。 今回、計画策定中の資料をお配りする中で、気になる用語があると考え、現時点での用語解説をお渡ししている。入れた方がよい用語や意見があれば10月16日（金）までにメールをお送りいただきたい。 ～令和8年度第4回高齢者福祉審議会 終了～ （以上）
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>2026 年10月22日</p> <p>議 長 の 署 名 小池 佐智子</p> <p>議長が指名した者の署名 幡野 敏夫</p>	